

## 第85回全国民生委員児童委員大会 式 辞

香川県、高松市それぞれの行政、社会福祉協議会などの関係機関、そして県内民生委員・児童委員の皆様のご協力を得て、本日、全国から3,000名を超える皆様をお迎えし、本大会が開催できますことに、まずもって厚くお礼申し上げます。

本年も、四月の熊本地震など、地震、台風などの自然災害により全国各地で被害が発生しております。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、ご自身も被災されているなかで住民の支援に献身的にあたられている民生委員の皆様に敬意を表します。また、発生から五年七か月を経た今も厳しい状況にある東日本大震災被災地の皆様にも、長きにわたる住民への支援活動に、あらためて深く感謝申し上げます。

さて、民生委員制度は、いよいよ来年、制度創設百周年を迎えます。振り返れば、それぞれの時代において強い使命感と情熱をもった先達の努力によって、民生委員制度は人々の信頼を得、地域に根付き、今日に至っております。この一世紀という大きな節目にあたり、私たちは、先達から受け継いだ思いを確実に次の世代に引き継いでいく責務があると考えます。

全民児連では、来る百周年に向け、種々の記念事業の準備を鋭意、進めております。全国の委員の皆様にお送りいたしました全国一斉モニター調査については、すでに九割を超える回答率となっております。また、百周年を受け、今後の民生委員・児童委員制度や活動を展望するために、全民児連では検討委員会を設置し、検討を進めております。来月には「中間報告」を取りまとめ、皆様にもお示ししたいと考えております。

さて、百周年という大きな節目を前にした今日、私たちが属している地域の福祉課題は複雑・多様化しております。社会的孤立や経済的困窮、児童虐待や認知症高齢者の増加、さらには相次ぐ自然災害などにより、人びとの生活の安心が大きく揺らいでおり、私たち民生委員に寄せられる期待は一層大きくなっております。

厚生労働大臣からの委嘱という誇り、使命感と情熱、そして民生委員児童委員信条を胸に、全国の民生委員・児童委員がひとつになって、人びとの「心のよりどころ」となれるよう、さらなる取り組みを進めてまいりたいと存じます。また、そのためにも全民児連として、厚生労働省と連携し、委員の活動環境のさらなる改善に努めてまいる所存であります。

間もなく一斉改選を迎えます。今期で退任される皆様には、これまでのご労苦に深く感謝申し上げます。どうぞ後任の皆様に民生委員・児童委員の「心」を、お伝えいただきますとともに、退任後も地域における応援団としてのご支援を重ねてお願い申し上げます。

終わりにあたり、ご参会の皆様におかれましては、本大会を通じて全国各地の委員との交流を深めていただくとともに、本大会の成果をお持ち帰りいただき、ご地元での活動にお役立ていただきますよう、主催者としてお願い申し上げます、式辞とさせていただきます。

平成28年10月20日

全国民生委員児童委員連合会 会長 堀江 正俊